

## 第1回「早明浦ダム濁水対策新技術検討委員会」審査結果

### 1. 第1回委員会審議結果について

昨年実施した早明浦ダムの濁水対策技術の公募では、幅広い分野から全57件の技術応募がありました。本日、委員会において応募技術の評価・審議が行われました。その結果、主たる対策分野において下記のようなことが議論されました。

#### <委員の主な意見>

- ・ 濁水濁水（流水による湖底濁質の巻上げ現象）における濁水長期化の因果関係について整理が必要。
- ・ 対策技術の効果とコストを勘案し、さらに内容を詳細に詰める必要がある。
- ・ 湖内での濁質低減に関する分野の技術については、適用する場所や規模、時期等の考え方を整理する必要がある。
- ・ 現地実証実験の前には予備実験等を実施する必要がある。

なお、本日の審議では、一次選定結果として概ね15件程度となりましたが、本日まで出席いただいていない委員の意見等を踏まえて、最終確定する予定です。

### 2. 今後の予定

これらの技術はさらに来年度開催される委員会に諮り、二次審査として応募者とのヒアリング等、より具体的・専門的な審査を行ない、現地実証実験等の候補となる有用な技術を選定していく予定です。

### 3. 審議内容の公表について

なお、本委員会の審議過程については、応募者の意向等を踏まえ、最終選定まで一般には非公開とさせていただきます。

平成22年3月26日

#### 問い合わせ先

事務局 国土交通省吉野川ダム統合管理事務所

調査・品質確保課長

南 昭裕

TEL (0883) 72-3000

計画係長

造田康盛

FAX (0883) 76-0301